

県内研究施設訪問

10月19日(木)の1年生の総合科学で実施した。目的は次の(1)～(3)である。(1)第一線で地域に根ざした研究がどのようなものかを知ることによって、将来の研究活動の一助とする、(2)大学卒業後、地元企業で働くにはどのような仕事があるのか企業の通常目に見えない業務を知る、(3)科学技術と社会の関わりについて視野を広げ、将来の研究活動への意欲を高める。

文系、理系を考慮して大館市役所、大館税務署、株式会社伊徳、ニプロ株式会社、株式会社 エコリサイクル、小坂製錬株式会社を訪問した。文系の生徒は、帰校後大館市の観光課から「大館市の観光政策について」の講演をしていただいた。

実施後の生徒アンケートでは、「今回参加してよかった」に対して、「非常に思う」「やや思う」が97.3%、同じく「自らの進路選択の参考になった」が75.4%、「訪問した企業に興味を持った」については85.7%という結果となった。

生徒の感想には、「働くことの意義を感じた。」、「もう少しで社会人になるという自覚を持つことができた。」、「働くことの大変さを実感した。」、「自分が想像していたのとは仕事内容が異なっていた。」、「将来の職業選択の幅が広がった。」などというものがあった。多くが大学進学後に社会に出る本校生徒にとっては、働くことや社会に貢献することを身近に感じることができる、良い機会となった。



株式会社 伊徳



大館市役所



小坂製錬株式会社



大館税務署



ニプロ株式会社



エコリサイクル

総合科学ⅡAB 代表決定発表会

《総合科学ⅡA：普通科》

ゼミ	テーマ	メンバー
理農3	黄金比の起源と美しさ	C 石川 雄大 C 成田 詢 C 山本 織登 E 大久保 拓海 E 田村 颯汰
芸術2	色彩が人に与える影響	A 出島 奈愛 A 工藤 南々羽 B 菅原 咲紀

《総合科学ⅡB：理数科》

ゼミ	テーマ	主な発表予定
数学	円周率 π に迫る	校内発表会 11月 理数科合同研修会 11月
物理1	回転による反発係数の変動	理数科合同研修会 11月 東北SSH発表会 1月
物理2	音発電の可能性	校内発表会 11月 国外発表会(タイ) 1月
化学1	冷たさの長く持続する保冷剤を作る	小中高理科研究発表会 11月 姉妹校タイ訪問 12月
化学2	クロロフィルによる布の染色	理数科合同研修会全体発表 11月 東北SSH発表会 1月
生物1	ビタミンCを用いた癌細胞増殖抑制作用の探求	校内発表会 11月 理数科合同研修会 11月
生物2	動物のストレス緩和について	小中高理科研究発表会 11月 理数科合同研修会 11月

日本甲殻類学会

10月7日～9日に東京大学大気海洋研究所で開催された学会で生物部の8名が「ニホンザリガニ保全プロジェクト」の成果を発表し、特別賞を受賞した。東京大学柏キャンパス内の新領域創成科学への研究室訪問、別の研究室の本校卒業生との交流も実施した。

以下に生徒の感想の一部を掲載する。

『学会に参加し、甲殻類を専門とする人達の貴重な意見を聞くことができた。また、自分達の研究と他校の研究を比較することで改善点や今後生かしたいことを発見することができた。今後は、科学的な根拠をふやしたり、比較実験を取り入れたりし、より一層、研究を深めていきたい。』

『研究の改善点を見つけることができた。比較実験をしたり、アンケートの母集団を増やしたりする。甲殻類の専門家にお話を伺い、知識を増やせた。』

